

2022年11月6日朝刊



晩茶の乾燥作業の様子。乳酸菌発酵を経て日光の下に置く。2021年、袋井市

耕作放棄地を活用して、薄茶色の水と豊かな風味が特徴の茶づくりに挑む「晩茶研究会」の活動が本格化している。発酵茶の需要を見込み、産地の垣根を越えて生産技術を磨き、魅力発信を進める。

## 「晩茶」の魅力広がれ



世界お茶まつり2022秋の祭典で出展したブースに並ぶ菩提酸茶などの商品。たくさんのお客さんが立ち寄った。10月23日、静岡市駿河区

県内「研究会」活動本格化  
晩茶は十分に生育した硬い茶葉で作る。日々の煎茶栽培を行う中で、「うまみの少ないお茶でもおいしく飲めるんじゃないか」と考えた袋井市の茶農家や焼津市の茶商らが、茶文化に詳しい元愛知大教授の松下智さんを

## 産地の垣根越え消費開拓

選に選ばれるなど、徐々に認知が広がった。静岡市駿河区で10月開かれた世界お茶まつり2022秋の祭典では、多くの来場者の興味を引き「今までになかったお茶の味わい」「肉料理と一緒に飲むといい」となどの評価を受けた。国内には徳島の「阿波晩茶」や高知県の「番石茶」など多様な発酵茶がある。

同研究会は、松下さんが所蔵する茶文化資料の管理と展示を担う「松下コレクション」を活かす会とともに、奈良や高知などの生産者を招き12月4日、晩茶に特化したサミット「BANCHATEN(バンチャテン)」を香りの丘茶屋(袋井市)で開き、茶業者同士の交流を通して晩茶生産の活性化策を探る考えで、同研究会の多々良高

行さん(50)は長峰製茶(焼津市)社長。日々改良しながら、消費開拓に向けた方策を考えていきたい」と話す。(経済部・平野慧)

記事を読んで、問いに答えなさい。

- ①晩茶研究会の活動とは、どのような活動か。次の語句を必ず使って、説明しなさい。  
＜耕作放棄地、産地＞

- ②袋井市の茶農家や焼津市の茶商らが、元大学教授とともに挑戦してつくった晩茶の商品名とは何か。記事の中から、漢字で抜き出して答えなさい。

- ③徳島県と高知県にある発酵茶の例には、どのようなものがあるか。それぞれ記事の中から抜き出して答えなさい。

- ④あなたが考えるお茶の魅力をもさらに高めていく具体策を、記事を参考にしながら説明しなさい。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤 大介(静岡聖光学院中学校・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)



晩茶の乾燥作業の様子。乳酸菌発酵を経て日光の下に置く。2021年、袋井市

耕作放棄地を活用して、薄茶色の水と豊かな風味が特徴の茶づくりに挑む「晩茶」研究会の活動が本格化している。発酵茶の需要を見込み、産地の垣根を越えて生産技術を磨き、魅力発信を進める。

## 「晩茶」の魅力広がれ



世界お茶まつり2022秋の祭典で出展したブースに並ぶ菩提酸茶などの商品。たくさんのお客さんが立ち寄った。10月23日、静岡市駿河区

県内「研究会」活動本格化  
晩茶は十分に生育した硬い茶葉で作る。日々の煎茶栽培を行う中で、「取り取った茶葉を熟成させ、天日干しで乾燥させ、じっくり飲むんじゃないか」と考えた袋井市の茶農家や焼津市の茶商らが、茶文化に詳しい元愛知大教授の松下智さんをのくに山のお茶100

## 産地の垣根越え消費開拓

選に選ばれ、徐々に認知が広がった。静岡市駿河区で10月開かれた世界お茶まつり2022秋の祭典では、多くの来場者の興味を引き「今までになかったお茶の味わい」「肉料理と一緒に飲む」といった評価を受けた。国内には徳島の「阿波晩茶」や高知県の「菩提酸茶」など多様な発酵茶がある。同研究会は、松下さんが所蔵する茶文化資料の管理と展示を担う「松下コレクション」を活かす会とともに、奈良や高知などの生産者を探し、12月4日、晩茶を特化したサミット「BANCHATEIN（バンチャテン）」を香りの丘茶屋（袋井市）で開き、茶業者同士の交流を通して晩茶生産の活性化策を探る考えで、同研究会の多々良高

（経済部・平野慧）

行さん（50）は長峰製茶（焼津市）社長。日々改良しながら、消費開拓に向けた方策を考えていきたい」と話す。

記事を読んで、問いに答えなさい。

- ①晩茶研究会の活動とは、どのような活動か。次の語句を必ず使って、説明しなさい。  
＜耕作放棄地、産地＞

（例）耕作放棄地を活用して発酵茶としての晩茶を生産し、産地の垣根を越えて研究しながら消費開拓を目指していくこと。

- ②袋井市の茶農家や焼津市の茶商らが、元大学教授とともに挑戦してつくった晩茶の商品名とは何か。記事の中から、漢字で抜き出して答えなさい。

（菩提酸茶）

- ③徳島県と高知県にある発酵茶の例には、どのようなものがあるか。それぞれ記事の中から抜き出して答えなさい。

（徳島県）阿波晩茶、（高知県）碁石茶

- ④あなたが考えるお茶の魅力さをさらに高めていく具体策を、記事を参考にしながら説明しなさい。

（例）2022年10月に静岡市で開かれた世界お茶祭りなどのイベントを活用して、多様なお茶の魅力さを食事のメニューとの組み合わせで伝えたり、静岡県内にある美しい風景を觀賞しながら楽しくお茶を飲むスペースを考案していくこと。